



姿川中学校だより

第3号

令和2年6月29日
発行責任者 田中芳浩



【令和2年度 学校スローガン】未来に向け、自主・垂範・創造 そして思いやり

「姿川中学校」ホームページもぜひご覧ください。上記QRコードをご活用ください。

梅雨の候

新しい生活様式「マスク・手洗い・ディスタンス」

学校が再開し、4週間が経ちました。生徒たちは、新しい生活様式のもと、コロナ対策への意識も高く、授業中・給食中など落ち着いた態度であり、真剣に学校生活を送っています。

今後は、暑さが増してくることによる熱中症対策とともに、新型コロナウイルス感染症対策としての「マスク・手洗い・ディスタンス」の自分たちができることを、油断せずしっかりと継続してまいりたいと思います。そして、一日も早い、完全終息を願いたいものです。



臨時休業を補うための授業等の確保について

6月6日（土）の学級懇談では、多くの保護者の皆様にご出席いただきまして、大変ありがとうございました。その中で、各学級担任より説明しましたように、本校では以下のように授業日を新たに設定し、授業時数を確保してまいります。

〈 新たに設定した授業日 〉

夏季休業中の 7月21日（火）～31日（金）、及び8月17（月）日～27日（木）（16日間）
学期間休業の 10月12日（月）～14日（水）（3日間）
冬季休業中の 12月28日（月）・1月5日（火）・6日（水）・7日（木）（ただし、1/5は3年生のみ）（4日間）
※ その他に、授業日外であった部活動の大会日や体育祭及び予定日等が開催中止になったことに伴い、授業日に設定するなどの対応をとることで、授業日数を確保してまいります。

いじめ根絶集会

6月24日（水）テレビ放送による朝会で、生徒会の執行部が中心となり、いじめ根絶集会を行いました。クラスごとに作成した標語を、学級委員が設定理由とともに紹介し、最後に生徒会長による「姿川いじめゼロ宣言」が発表されました。各クラスの標語を紹介します。

また、標語は、各学級の廊下に掲示しておりますので、ご来校の際にはご覧いただくとともに、集会の様子については、「生徒指導だより」に掲載しておりますので、ご確認いただければと思います。

年	組	標 語	組	標 語
1年	1	「助けて」と 心のメール 受信しよう	5	「やめなよ」と言われる前に まずやるな
	2	トイレの水は流せても 心の傷は流せない	6	みんなもってる自分色 だから世界は無彩色
	3	その勇氣 誰かを助ける救いの手	7	いじめゼロ みんなでつくる笑顔の輪
	4	やめようよ その一言が救いの手		
2年	1	意識しよう みんなで達成 いじめゼロ	5	いじめをして生きるか、人間として生きるか。どちらを選ぶ？
	2	見過ごすな 感情のない 通り魔を	6	そこの君 今の発言 赤信号
	3	気づいてよ 私の涙 心の声	7	考えて 言葉と時間は 戻らない
	4	いじめゼロ 笑顔あふれる姿中へ	8	いじめゼロ みんなで広げる 笑顔の輪
3年	1	その言葉 いつか自分に はねかえる	5	しない決意を 負けない勇気を 許さない正義を
	2	やめさせよう 次の被害者 貴方だよ	6	言ってから 後悔しても もう遅い
	3	いじめの火 油じゃなくて 水かけろ	7	泣かせない差し伸べる手こそ 救いの手
	4	いじめの矢 深く心に突き刺さる		

避難訓練

6月24日、今年度第1回目の避難訓練を行いました。地震の発生に伴う給食室からの出火を想定した訓練です。「お・か・し・も（おさない、かけない、しゃべらない、もどらない）」の合言葉のもと素早い非難ができました。また、下記写真のように、全校生が一堂に集まるのが今年度初めてあり、感染症対策のため間隔を大きく開けての集合となりました。

近年、様々な自然災害が各地で起こっています。いっどこで遭遇するかわかりません。自分の身は自分で守れるよう、一人一人がしっかりと想定しておくこと、また、ご家族でも万が一を想定し、互いが連絡を取り合う方法や集合場所等を話し合っておくことも必要だと思います。



PTA及び地域協議会の皆様のご協力 ありがとうございます！



冷風機



非接触型体温計



花壇の花植え



図書室イスの修理

PTAより、体育館に冷風機3台、及び、非接触型の体温計2台を購入いただきました。臨時休業の補充のため今年度は7・8月の授業が増えることや、また、日々の生徒たちの体温測定のためには、欠かせない物品で、本当にありがたく、有効活用させていただきます。

地域協議会のボランティアの皆さんにより、5月27日・28日の花壇の花植えを、また、6月25日には、図書室のイスの修理を行っていただきました。いつも、たくさんの皆さんにご協力いただきありがとうございます。現在、南校舎前と中庭の花壇が満開です。また、図書室のイスもきれいに生まれ変わりました。

書籍「子どもが育つ魔法の言葉」（ドロシー・ロー・ノルト／レイチャル・ハリス著 石井千春 訳）

この書籍中の「子は親の鏡」という詩を紹介しします。世界中で愛読され、子育てのバイブルと呼ばれている本です。既にご存じの方も多いと思いますが、子育て中の保護者の皆さんや我々教育に携わる者には、とても大切なことを教えてくれる詩だと思います。

子は親の鏡

ドロシー・ロー・ノルト／レイチャル・ハリス著 石井千春 訳

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育つと、子どもも不安になる

「かわいそうな子だ」と言っていて育つと、

子どもは、みじめな気持ちになる

子どもを馬鹿にすると、引っ込みあんな子になる

親が他人をうらやんでばかりいると、

子どもも人をうらやむようになる

叱りつけてばかりいると、

子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない

褒めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる

見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ

親が正直であれば、

子どもは、正直であることの大切さを知る

子どもに公平であれば、

子どもは、正義感のある子に育つ

やさしく、思いやりをもって育てれば、

子どもは、やさしい子に育つ

守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ

和気あいあいとした家庭で育てば、

子どもは、この世はいいところだと思えるようになる